



2024年11月にM1・M3・M5を対象に実施した調査結果の一部を報告します。

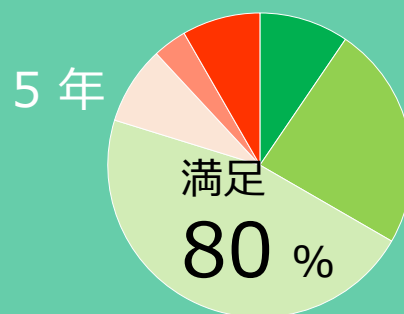
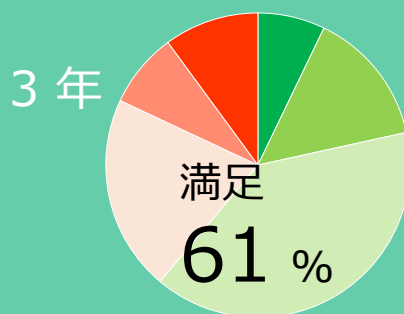
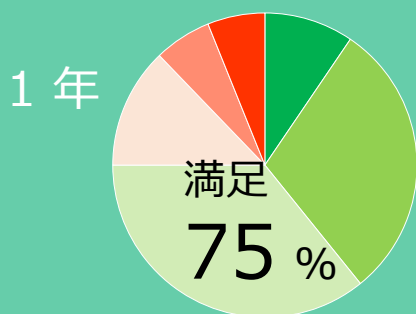
結果報告 Vol.8

作成日：2025年5月 作成：IR室

回答率 1年：96.7% 3年：96.6% 5年：93.3%

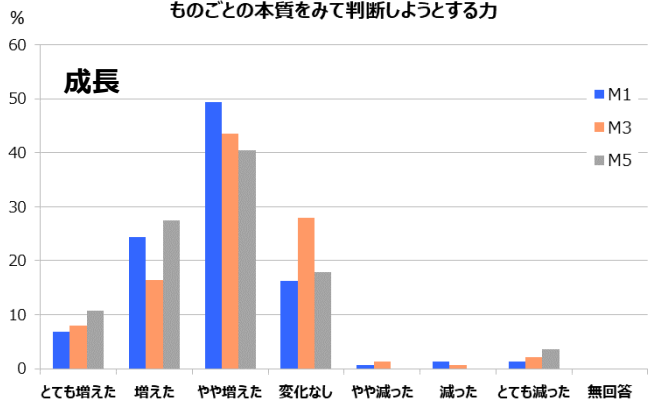
本学では良医育成のために、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に6年間の学修の到達目標（卒業時コンピテンス）を立てて教育を行っており、その成果を知る活動の一つとしてALCS学修行動調査を実施しています。この調査は、学生の皆さんがどのような経験をし、どのような学びを行い、何ができるようになったか、そしてどのような希望を抱いているのかについて、その達成度や満足度、成長感を把握するものです。毎年実施する予定で、本学学生の意識変化を調べるとともに、他大学との比較も行います。皆さんが達成感と希望をもって卒業し、医学・医療の世界で活躍していただくために、学修を支援し、教育改善に繋げる貴重な資料として活用させていただきます。

総合的にみて大学の学びに関する満足度



ものごとの本質をみて判断しようとする力

成長



物事を多角的に捉える
視点を鍛えよう！



知ること、
医学はもっと面白くなる！

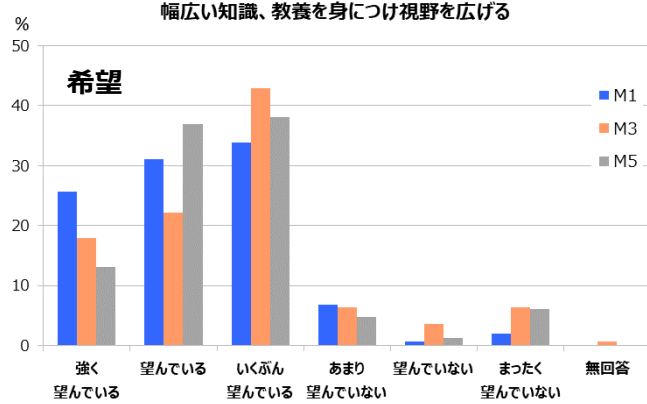


知りたい！を
力に変えていこう！



幅広い知識、教養を身につけ視野を広げる

希望



学生の意識変化

■能動的な経験による学修

「授業内容に刺激されて自主的にあらたな勉強や探求をしたこと」「大学内外で勉強会、研究会、講演会に参加したこと」から、自ら行動して学びを深める学生が多く見られます。

■学修に対する希望

学びを深める学生が多く見られることから、「専門分野の内容を十分に学ぶ」「幅広い知識、教養を身につけ視野を広げる」など、学びの発展への希望が高まっています。

能動的に学ぶ姿勢が育ち、学修への意欲と展望が広がっている様子がうかがえます。

授業内容に刺激されて自主的にあらたな勉強や探求をしたこと

経験

